

いき Scenic Women

～ルートで活躍する女性たち～ Vol.006

たわらまっぶ
中標津町 俵真布Cafe

佐伯 里栄さん

8年前に東京から中標津に戻り、実家の牧場が30年の間、酪農仲間と共に続けてきた「レストラン 牧舎」を里栄さんが継ぐことに。メニューを試行錯誤するなかで、もともと趣味だったパンを焼き、レストランの片隅に並べて売り始めたのが

道道74号と川が流れる街の中心街。小さなお店が並ぶ通りにたまたま赤いドア。「たわらまっぶ」という可愛らしく北海道的な不思議な響きを持つこの名は近くを流れる川の名前から付けられた。

「この街と育む こだわりパン」

街の想いを込めて焼く



きっかけとなった。最初はおぼちゃパンと白パンを10個つつ程度。それがおいしいと評判になり、レストランが休業する冬の間も販売を続けようとして俵真布カフエが誕生した。レストランとカフエが同時進行する季節は夜の9時に寝て夜中の1時半に起きる生活。それでも里栄さんはやり続けた。

「好きなんだと思います。」
そう頷く凛とした顔は自分のこの街での役割をしっかりと覚悟している美しい表情だ。

「朝起きてパンが膨らんでいるのを見ると嬉しくてエンジンがかかります。」
自ら店に立ち、お客さまの顔を見ながらパンを売る。声をかけてもらうことが励みになり頑張ろうと思える。

そんな毎日の積み重ねが、里栄さんのパンをこの街の味へと育ててゆく。

(文：宿谷友美 / 写真：酒田浩之)

人気のカッテージカレー1950円。ジャコフライが絶品。



Memo

里栄さんが継いだ「レストラン 牧舎」は、郊外の牧場に囲まれた静かで自然豊かな場所にあります。人気メニューの「カッテージカレー」は中辛でコクがありながら、さっぱりとしたヘルシーな一品です。

レストラン 牧舎

中標津町字侯落2000-8
10:00~18:00
(木曜定休)
0153-73-7151



0976 006 065*88



俵真布Cafe (たわらまっぶカフェ)

Open 11:00~17:30

(土日月の3日間のみ営業)

中標津郡中標津町東1条北1-16

0153-74-9110



パン屋さんには見えないアンティークな趣きのおしゃれな外観。真っ赤な扉が目印。

0429 777 489*32



日本にパンが普及したのは「あんぱん」のおかげだとか、日本人のおまんじゅう好きからヒントを得たらしいです。ちなみに4月4日は「あんぱんの日」だそうです。